



東海大学大学院 医学研究科

教員紹介

領域(医学部組織)
緩和医療学

専門分野キーワード
緩和医療学、臨床腫瘍学



教員氏名	徳原 真
取得学位	博士(医学)
現在の身分 (役職名)	特任教授
専門分野	緩和医療学、臨床腫瘍学
現在の研究課題	プロゲステロンの抗腫瘍効果及び免疫調節効果の検討、意思決定支援
所属学会	日本緩和医療学会、日本外科学会、日本消化器病学会 日本消化器外科学会 他

研究内容

1. プロゲステロンの抗腫瘍効果及び免疫調節効果の検討

近年、免疫チェックポイント抗体など免疫系を賦活化する抗がん剤の開発により、抗がん剤の概念は免疫系の活性化と調節にシフトしています。一方、これらの抗がん剤は自己免疫疾患様の副作用を生じることが報告されており、その治療にはグルココルチコイドが使用されています。しかし、グルココルチコイドは強力な免疫抑制剤でもあり、免疫チェックポイント阻害剤の効果を相殺する可能性もあります。また、グルココルチコイドには抗がん作用はないため、がんの進展を抑制することができません。一方、プロゲステロンは高濃度で免疫抑制作用が報告されており、かつ、抗がん作用ももつステロイドです。ホルモン療法としてのプロゲステロンの歴史は古くからありますが、承認された1967年当時はまだ解析の手段が少なく、単にプロゲステロンを投与することでエストロゲンの分泌を抑え、それによってホルモン陽性乳がんの抗腫瘍効果が得られるプロセスが重んじられていました。プロゲステロンには単剤では抗腫瘍効果がほとんど望まれないと思われていますが、免疫調節作用と抗腫瘍効果が共存することから、免疫チェックポイント阻害剤との併用薬としては、グルココルチコイドより優れた性質を持つ可能性があります。プロゲステロンに免疫調節と抗腫瘍の両効果が確認できれば、非常に安価で、比較的副作用の少ない薬剤が最新の癌治療となる可能性があります。プロゲステロンの研究を行っている基礎医学系分子生命科学と共同で転移進行がん患者の免疫系にも誘導できるか検討しています。

主要論文

1. Shimoda M, Chujo D, Kawabe A, Takahashi N, Ito K, Maruyama K, Shinohara K, Aijima K, Sugihara Y, Taiki T, Kajio H, Yanase M, Hinohara C, Tokuhara M, Umemura Y, Edamoto Y, Takamura N, Matsumoto S, Kokudo N. Efficacy and safety of total pancreatectomy with islet autotransplantation: A clinical study in Japan. J Diabetes. 2021 Jun 29.
2. Nagata N, Kwazoe A, Mishima S, Wada T, Shimbo T, Sekine K, Watanabe K, Imbe K, Kojima Y, Kumazawa K, Mihara F, Tokuhara M, Edamoto Y, Igari T, Yanase M, Mizokami M, Akiyama J, Umemura N. Development of pancreatic cancer, Disease-specific mortality, and all-cause mortality in patients with nonresected IPMNs: A long-term cohort study. Radiology. 2016 Jan;278(1):125-134.
3. Konno M, Hamazaki TS, Tokuhara M, Masui S, Okabayashi K, Ohnuma K, Yabe S, Yasuda K, Ishiura S, Okochi H, Asashima M. Efficiently differentiating vascular endothelial cells from adipose tissue-derived mesenchymal stem cells in serum-free culture. Biochem Biophys Res Commun. 2010 Oct 1;400(4):461-5
4. Banas A, Teratani T, Yamamoto Y, Tokuhara M, Takashita F, Osaki M, Kato T, Okochi H, Ochiya T. Rapid hepatic fate specification of adipose-derived stem cells and their therapeutic potential for liver failure. J Gastroenterol Hepatol. 2009 Jan;24(1):70-7
5. Banas A, Teratani T, Yamamoto Y, Tokuhara M, Takashita F, Osaki M, Kawamata M, Kato T, Okochi H, Ochiya T. IFATS collection: in vivo therapeutic potential of human adipose tissue mesenchymal cells after transplantation into mice with liver injury. Stem Cells 2008 Oct;26(10):2705-12